

父親を超える生産者をめざして ～ピーマン栽培を頑張っています！～

平成14年就農
施設園芸
(ピーマン)



橋口 仁一さん

【就農した経緯等】

◆農業で頑張る父親の背中を見て成長した仁一さんは、迷うことなく地元の農業高校から県農大に進学し、卒業と同時に20才で親元就農。

◆就農からしばらくの間、度々「橋口さんのところの息子さん？」といわれ続けたこともあり、早く父親を超え、自分の名前と呼ばれたいと思っていた。

◆努力を続け、30才を過ぎた頃には県外からも視察が来るなど、地元若手のリーダー的存在となっていた。

◆平成26年に県主体で結成された「未来を見つめる会」の団長として、関東地方への視察で刺激を受け、地域の若手農家勉強会「ハッピーマン」を主宰した他、JA青年部勉強会「和会(わかい)」等、複数の活動に参画している。

【自己紹介】

- 氏 名:橋口 仁一(37才)
- 所在地:西都市
- 経営内容:施設園芸(ピーマン)40a
- 趣味:釣り全般(最近はメジナ釣り)
- 将来:自家のハウスを利用した後進の育成(トレーニングハウス化)
- その他:地域の複数の勉強会を主催



収穫間際のピーマン

【活用した支援施策等】

- ◆産地パワーアップ事業(平成28年度)
- ◆強い農業づくり交付金(平成29年度)
- ◆持続的生産強化対策事業のうち次世代につなぐ営農体系の確立支援(平成31年度)

【今後の展望】

- 親が経営するハウスを含めて、ハウス施設が11カ所、130aの経営規模となっていることから、近い将来法人化を検討したい。
- 将来は、自家のハウスをトレーニングハウスとして活用し、さらに技術的サポートもしていきたい。
- スマート農業の実践(AIによる複合環境制御装置の利用等)から、さらなる高収量(20t以上/10a)を目指すとともに、毎週計画的に休暇を取得できるような作業効率の良い農業を実践したい。



ハウス内の様々なデータを確認

資料:2019年12月作成